

Kyū-Ryō

宮陵会報

2025・7

(令和7)

No.120

一般社団法人
神奈川大学宮陵会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp



「神奈川大学が指定管理者の横浜市開港記念会館」(絵 渡邊 恵子)

目次 No.120

定時社員総会報告	P2
宮陵会事務局からのお知らせ、表彰者芳名、表紙のことば、など	P3
新会長就任のご挨拶	P4
新役員の紹介、Giving Campaign2025で神大生を応援しよう	P5
2024年度事業報告・決算、2025年度事業計画・予算	P6
活躍する卒業生(二本木岳彦さん)	P7
活躍する卒業生(齋藤裕樹さん)	P8
戦後80年記念企画(神奈川大学国際日本学部教授 後田多敦さん)	P9
活躍する卒業生(堤敦さん)	P10
活躍する卒業生(幸地俊一さん)	P11
宮陵会掲示板	P12
卒業生の声	P13~P14
「宮陵」(No.74)の感想、「宮陵会報」No.121号の取扱いについて、ホームカミングデーのご案内	P15
宮陵会主催のジャズコンサート	P16



初めての

保養所利用

栃木県 川中子武保（69歳）

1980（昭和55）年法学部法律学科卒業

梅雨前線が日本列島を這い上がり、九州地方が奄美地方を71年ぶりに飛び越えて「梅雨入り宣言」をした5月17日、そして、箱根町が、その日の暴風雨に見舞われた代表の町としてTVKテレビに放映された日、私たち夫婦は、箱根登山バス「仙石」バス停に降り立ちました。

箱根には、これまで箱根登山鉄道などを利用し何度も訪れました。4回目の今回は、「古希」を迎える私と、妻への日頃の感謝の意を込め、駅伝ルートを眺めながらバスに乗ってやってきました。保養所直近のバス停である「仙石」からは、ひたすら保養所を目指し、妻が暴風により、2回も飛ばされそうになりながら、何故、こんな日を選んだのかと悔みながら、保養所にやつのこと着い

た。2人とも全身ずぶ濡れで、やさしい受付の方の案内で、保養所の温泉利用を促され、ホッと一息。豪華な夕食にも大いに癒されました。特に、先に注文しておいた「鮑」^{あわび}「榮螺」^{さざえ}がこれまた絶品で、「純米酒箱根山」と「ワイン」で美味しくいただきました。

今回、暴風雨の中の宿泊となりましたが、夫婦2人にとって、一生忘れることができない、初めての保養所利用の記念日となりました。お気遣いいただいた保養所職員の皆さん、本当にありがとうございました。

皆さまもぜひともご利用下さい。心がホッとしますよ。